

ゴミンティア

(神奈川県横浜市)

ゴミンティアチーム

お祭り

ワークショップ

シビックプライドの醸成

まちあるき

地域清掃

お祭り

年に1,2回
祭りが楽しみ

ワークショップ

知識を得られる
教育に役立つ

シビックプライドの醸成

まちあるき

街を知れる
街が好きになる

地域清掃

街がきれいになる
街をつくりたくなる







ゴミンティアとは？

地域清掃

ICT活用
(データ)

対策会議
(コミュニティ)



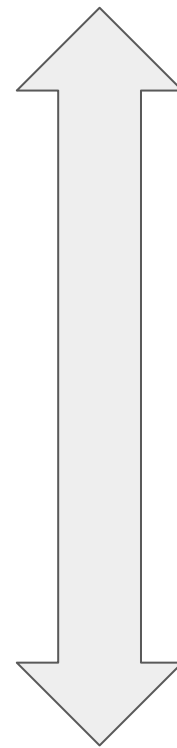
地域課題

地区課題

区画課題

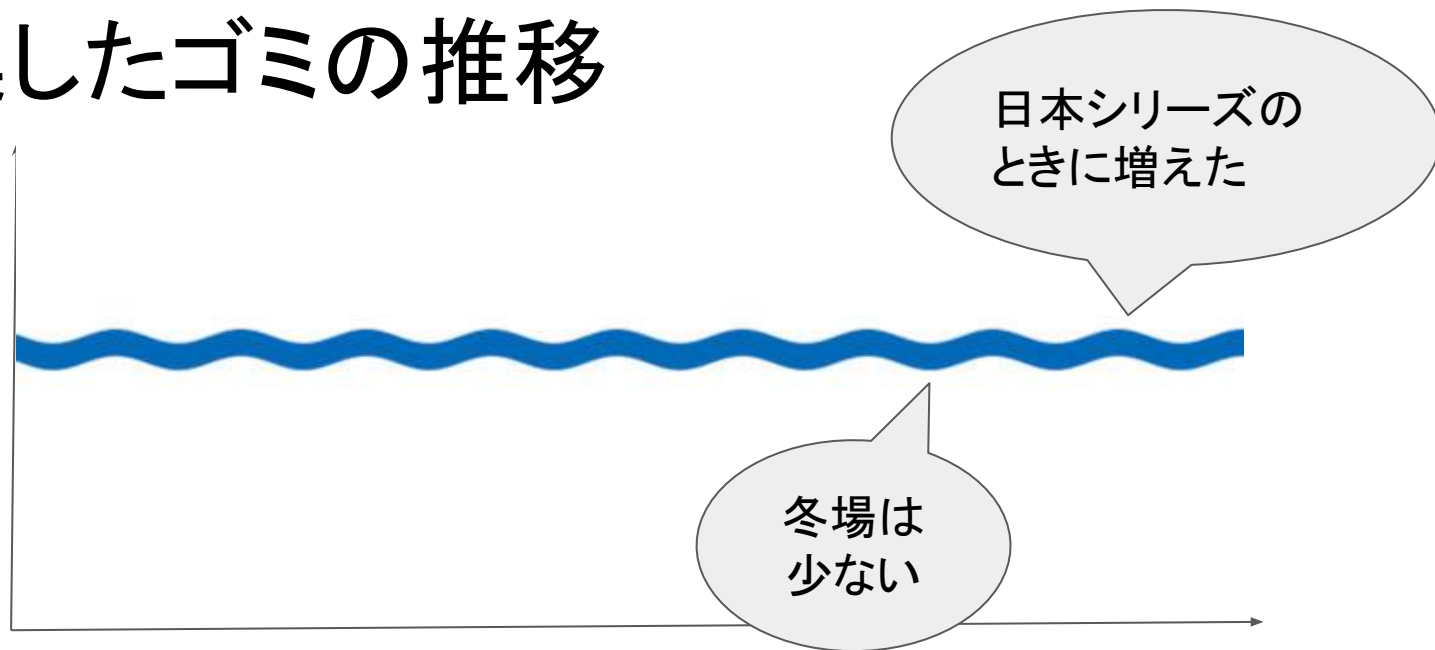
都市

近所



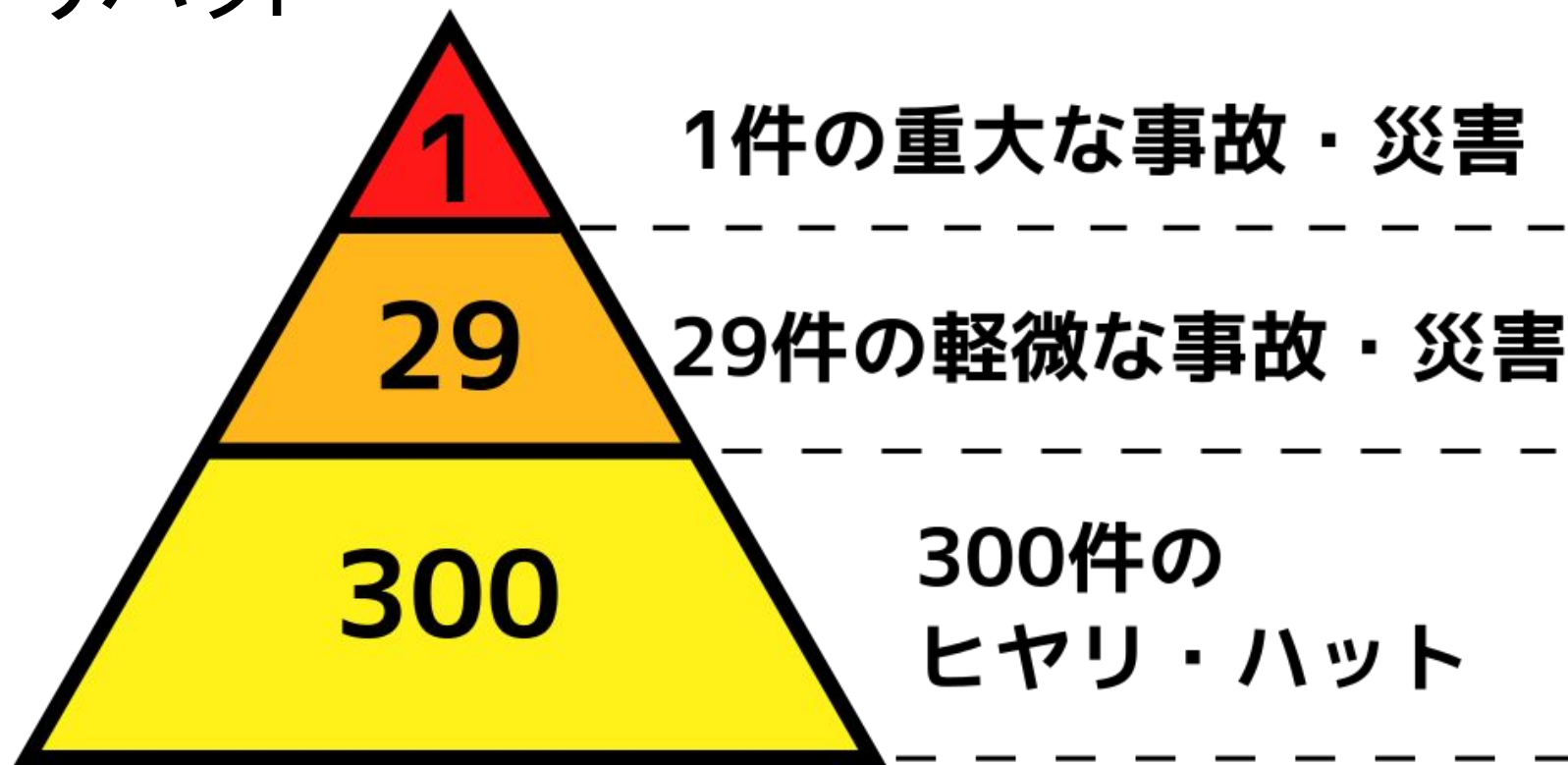
地域課題と区画課題は違う
区画課題が改善すると好きになってくる

収集したゴミの推移



長い時間軸で見ると
収集したゴミの量は減っていない！

ヒヤリハット



(ハインリッヒの法則)

井土ヶ谷



交差点に
設置できる
灰皿の開発

交差点に
大量の吸いながら

杉田

乾電池のポイ捨てが多い

乾電池の
捨て方を
PR



長崎県五島市

バス停の周辺に
大量のポイ捨てゴミ

バス停に
ゴミ箱を
設置したほう
がよいのでは
ないか

バスの
待ち時間が
長い

バス時刻の
周知がなされ
ていない(季節
で変わる)
アプリや時刻
表の充実

ゴミンティア
ゴミ拾いフロンティア

地域清掃

ICT活用
(データ)

対策会議
(コミュニティ)

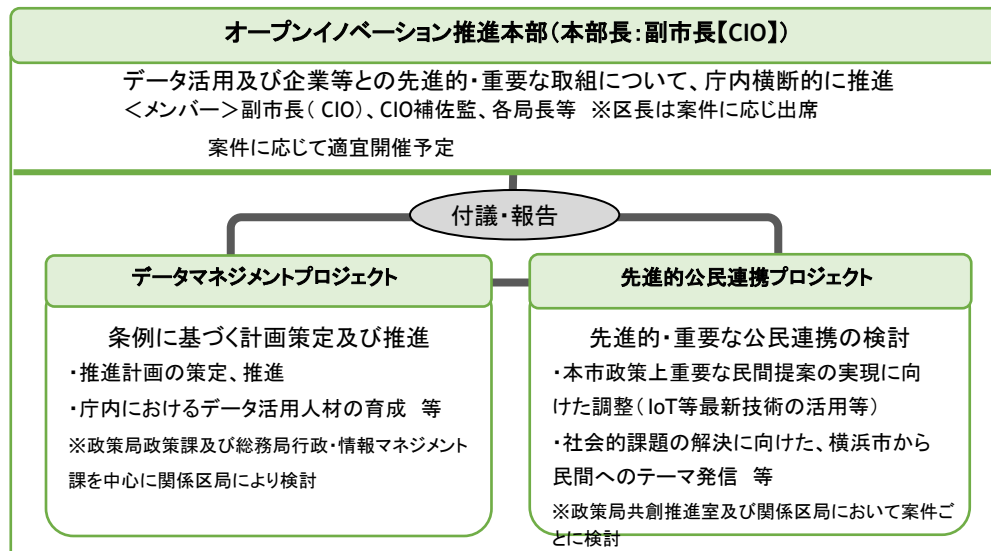


シビックプライド
醸成に最適

横浜市として「ゴミンティアチーム」との 協働・共創のあり方について

横浜市では、「官民データ活用推進基本条例」が平成29年3月に施行され、条例に基づく横浜市官民データ活用推進計画の策定や、企業等との先進的・重要な取組の推進等を通じ、客観的なデータを踏まえた政策展開や、公民連携の一層の推進の取組を効果的に行うため、官民データの一層の活用などを庁内横断的に検討・推進する場として、平成29年4月に「オープンイノベーション推進本部」を設置。

オープンイノベーション推進本部の設置

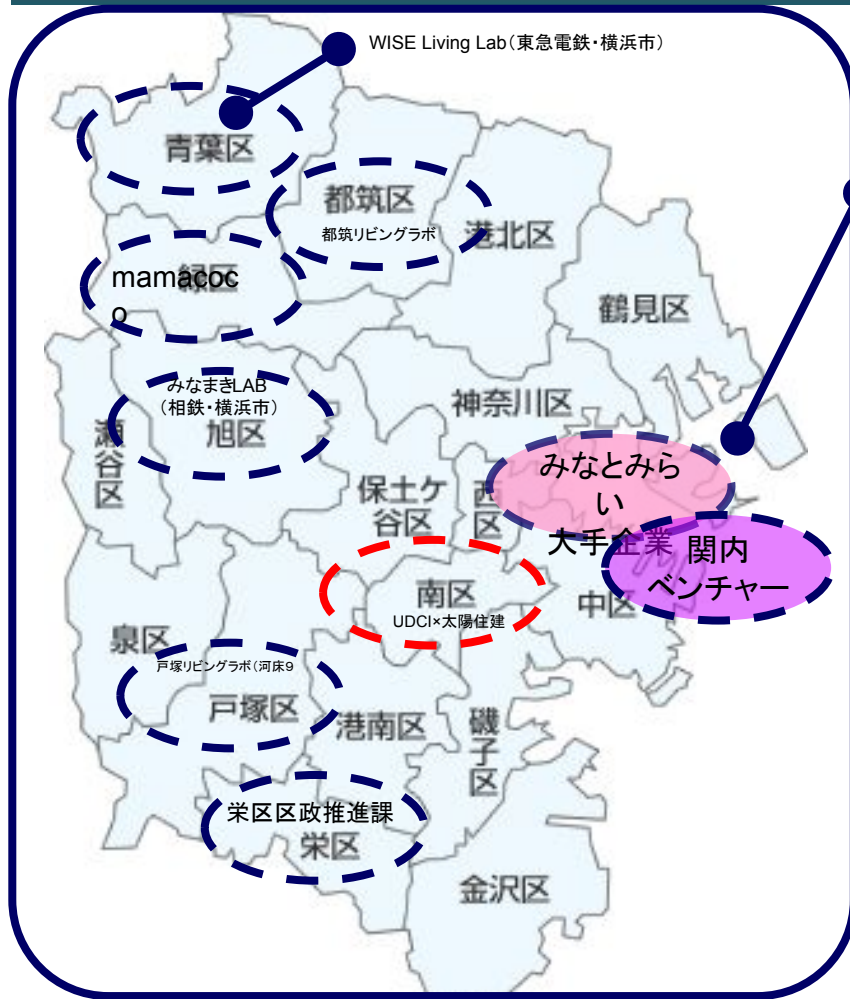


「リビングラボ」とは？

- 特定の地域＝実生活空間において、公民連携による課題解決の取組を創出する公民対話の場であり、その一連の活動
- 区、関係局、地域住民・地域組織、大学、有識者等が参加。データに基づき、課題発見・設定から始める。
- さらに、課題に応じた民間企業等が参加し、地域住民との“共創”により、課題解決に資する新たなサービスを継続的に創出・試行・評価

※区地域福祉保健計画の地区懇談会を、より実効的になるよう改善させたイメージ

横浜におけるリビングラボのネットワーク構築



- 大手企業誘致のブランディング
(先端ビジネスリサーチパーク)
- ベンチャー誘致のブランディング
(スタートアップが集まる関内)
- フューチャーセンターの開設
(みなとみらいのイノベーション拠点)

※ヨコハマ イノベーターズコミュニティ事業
(経済局成長戦略推進部 誘致推進課)

※フューチャーセンター開設調査

(温暖化対策統括本部企画調整部 環境未来都市推進課)

横浜のオープンイノベーションを進める民間の中間支援組織

- 市内の各区を拠点とするリビングラボのネットワーク
- 情報の扱い方、情報基盤の共同利用
- 相互の企業・モニター・ファシリテーターが連携するネットワーク

南区:井土ヶ谷アーバンデザインセンター(リビングラボ)

南区版

掲載号: 2017年10月5日号



市民主体で課題解決 (社会)

井土ヶ谷で集会

地域が抱える課題の解決へ向けて、住民、企業、団体などが意見やアイデアを出し合う「リビングラボ」の集会が9月30日、井土ヶ谷下町の「井土ヶ谷アーバンデザインセンター」で行われ、約70人が参加した。



神奈川県全域・東京多摩地域の地域情報紙



<http://yokohama.localgood.jp/event/11478/>

<http://www.townnews.co.jp/0114/2017/10/05/401119.html>



横浜市として「井土ヶ谷リビングラボ」を通じた 「ゴミンティアチーム」との協働・共創のあり方

- 1 活動を支援する必要なツールを開発するための「アイデアソン、ハッカソン」の協働開催
- 2 エリアごとのゴミの特徴や課題の視える化、解決策を考案等をするためのデータ解析への支援・協力
- 3 「ゴミンティア」のノウハウや仕組みを他の地域や社会課題へと横展開していくためのプロモーション活動に対する協力